

# 琉球大学学術リポジトリ

## 発明と起業

メタデータ	言語: 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 高安, 正勝 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002016849">http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002016849</a>

## 「発明と起業」

ベンチャー高安有限会社

代表取締役社長 高安正勝

### 1. 子供の時からの夢・・・物理学者か発明家

昭和22年6月13日生まれの私は貧困の中で、父母の毎日朝早くから夜遅くまで働く姿を見て育ちました。そんな中で父は学問こそが身を立てる、一番のいい方法だと説いていました。小学校4年の10歳のときに既に発明家か物理学者になる事が夢となっていました。

### 2. 発明の実際

琉球大学理工学部物理学科に入学し物理の基礎を勉強しました。その基礎の上に10歳のときから積み重ねてきた発明への、思考方法が効力を発揮し色々な世間には役に立たない発明が出てきました。発明が企業として役に立つかどうかは、それを利用するお客さんが多いか少ないかによります。勿論利用者数が少なくても高額のものであれば良い訳であります。弁理士にその出願を頼むと簡単に出来ます。説明するだけでちゃんとした申請書類となって出来上がってきます。その代わり約35万円の費用がかかります。

お陰でたばこ代とか酒代が無くてタバコとビールとウイスキーは58歳にもなってもまだ未経験です。泡盛は高校卒業して1週間目に近所のキビだしを手伝った慰労会で、1杯だけ飲みました。美味しいとは思いませんでした。それっきり口にしていません。

色々な発明をしました。考えている間は世界で初めての技術ということで楽しいものです。弁理士の先生に頼んで特許として書類を準備している間に、熱も冷めてきて出し終わったときには、これは起業できない物だという事が明確になるものなのです。

(株)南西航空で働いている間も色々と発明をしていました。起業できない発明が10件ほど、ほとんどが自分の発明家魂を満足させるだけの、世界初の技術ではあるが役に立たない技術でした。それらの発明の集大成として気耕栽培装置でありました。土耕、水耕とはあります。気耕とはいったい何なのでしょう。気根を持っているランをミズゴケで栽培しようとするから、困難になるのであって気根なら空気中に植えたのがいいのではないかと、原理原則に従って考えたのが気候栽培装置なのです。

### 3. 40年+一秒の結果・・・常温瞬間空中結晶製塩法

その当時バブルの絶頂期で私が生きている間はバブルの崩壊とは考えられないことでした。切花一本が千円もしたのです。それで南西航空を辞めてラン栽培の農業をやっていました。ランハウスに関する発明も色々やりました。その中に常温瞬間空中結晶製塩法の基になる、微細霧発生器というのが在りました。

それと10歳からの発明家になるという夢が育てた思考方法が平成9年1月4日の新聞で塩が専売法が、廃止されて自由化になるとの記事を読んだだけで、常温瞬間空中結晶製塩法が出来たのです。それまで塩に関しては研究したことも、造りたいと思ったこともありませんでした。日本中で塩の自由化という事実を当時知ったのは、私一人では無かった筈です。若しかして5千万人は塩の自由化というそのとき知ったのかもしれませんが。しかし常温瞬間空中結晶製塩法を発明したのは、私一人でした。10歳からの40年+1秒でした。普通の頭ならあるものについて40年も継続できたら、何かできるという証拠だと思います。

#### 4. その時々において最善の方法を選ぶ

技術は出来ました。私一人の頭が作り出した技術です。まだ世間では認められていません。したがって銀行もお金を貸してくれません。海岸に土地を買って工場を作る金が工面できません。やむなくランハウスを改造し工場を作り、中古トラックを買って海水を栄野比の山の上まで運んで、塩を造ることになりました。

結果的に言えばこの方法が良かったのかもしれませんが。最初から資金をかけて工場を作っても、売れない可能性もあるからです。8年間ぬちマースのよさを説いてようやく売れるようになりました。

#### 5. ベンチャー企業と技術、資金、人材、

ベンチャー企業にあるのは、確立されていない可能性を秘めた技術だけです。資金も人材もないのです。私が南西航空時代に蓄えていた金がある筈だといって、最初は妻から出してもらいました。それも直ぐに無くなります。その次に親兄弟です。その後銀行です。銀行も担保が在る分は貸してくれます。担保がなくなると今度は地域の友人たちです。その後高校の同級生たちです。特に徳島県からは1500万直ぐ手配し送ってくれて、金は出すけど口は出さないという人も居りました。また知り合って一年も経ってない人も1500万円出世払いで貸してくれました。資金面ではこのように綱渡り状態でどうにかこうにか、しのいできました。

人材面では人を採用するのはほとんどが生産関係の人でした。その中でも塩のよさを分かってくる社員が増えて、この8年間倒産せずに来ています。

#### 6. ベンチャー高安(有)における信念とその根拠・・・生命とミネラル

ベンチャー高安(有)に在るのは自分の技術に対する信念です。またその技術から生産された「ぬちマース」が総ミネラル不足の現代人において、いかに貢献できるかを一番知っていたという事です。発明した人がそれから作り出される製品の価値を一番良く知っていたのが幸いしました。私は物理学科です。余り生命に関しては関係が無い学科と思われている。しかし137億年も前のビッグバンから始まって、46億年前の地球誕生、40億年前の生命誕生については、まさにエネルギーから無機物という素粒子、原子、分子の発生がそもそも物理学である。それはエネルギーの存在形態の変化であり、且つ発生した物質がエネルギーをそれ自体備えていたために起こった必然的な変化で在ると認識していた。そういう視点から生命の進化を、考えていたのが大学を卒業した後の、主な興味であった。

40億年前に誕生した生命は、4億年前に陸地に上がった。その間の36億年海にいて地球上の全ての物質が溶け込んだ、海の中でそのミネラルを材料に生命機能を複雑且つ精巧にし、この地球を支配するまでに至っている。生命はこのミネラルを活用しなければ恐らく、このように精巧な機能は発揮できなかったであろう。

#### 7. ベンチャー高安(有)の現状と新工場計画

ベンチャー高安(有)は今年で創立8年目になります。起業して会社を成り立たせるというのは、簡単なことではありません。この8年間絶対に成功するという、この塩こそが人類に健康をもたらすものと言う、信念のもと脇目も振らず、目の前に発生する問題を解決してきました。勿論まだまだ充分とはいえません。

今度うるま市の宮城島に8千坪の土地を確保し、新工場の設計に入っています。現在の工場は私が研究工場として、私一人で造り上げたものです。そこには効率というもの余り追求されて

いません。それを実行する資金が無かったからです。この 8 年間研究してきた結果を、集大成し生産効率の良い理想的な工場が来年には完成します。

新しい工場の設計をまとめていると良くぞこのような、効率の悪い研究所でベンチャー高安(有)は頑張ってきたと言う実感が自然と湧いてきます。

たくさんの人の協力のお陰で、社員の頑張りのお陰で社長一人の趣味の延長上にあったベンチャー高安(有)は、ようやく本物の会社になる直前にまで来ました。